

So, / organic agricultural products **are thought <to be>** generally safer /
 結果・結論 S V C
 than non-organic ones>.
 = agricultural products
 In the United States, / about two percent of all food **is grown** / <using
 S V 付帯状況を表す分詞構文
 organic methods>.

内容Check!

問 次の各文が正しければ()に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. Organic farming is becoming popular because people are concerned about the safety of food. ()
2. Organic products are thought to be safer because they are protected by pesticides. ()
3. About 20% of American farmers are using an organic method of farming. ()

覚えておきたい表現

It is ~ to do 「…するのは～だ」

ℓ.4: It is probably easier to explain what organic farming is not. 「おそらく、有機農業ではないものは何かを説明する方が簡単だろう。」

• It is ~ to do 「…するのは～だ」: to 不定詞を真の主語とする形式主語構文。この文は、To explain what organic farming is not is probably easier. と書き換えることができる。

• what ~ is not 「何が～でないか」: この what は疑問詞。What is not organic farming? という疑問文が explain の目的語になった形。

think+O+to be ~ 「O を～と考える」

ℓ.6: So, organic agricultural products are thought to be generally safer than non-organic ones. 「したがって、有機農業の生産物は、有機栽培ではないものと比べて一般的により安全であると考えられている。」

• think + O + to be ~ 「O を～と考える」: この文は受動態になっている。能動態にすると、We think organic agricultural products to be generally safer than non-organic ones. となる。受動態の場合でも to 以下は同じ。think の他に find や believe も同じ形の文を作る。

• ones (= agricultural products): 前出の名詞の繰り返しを避けるための代名詞 one の複数形。なお、複数形の ones の前には必ず形容詞などがつく。

Ex. This bag is too small. Do you have a bigger one? 「この袋は小さすぎる。もっと大きいのはありますか。」

付帯状況を表す分詞構文 「…しながら；…して」

ℓ.9: In the United States, about two percent of all food is grown using organic methods. 「合衆国では、すべての食物のおよそ2パーセントが、有機栽培の方法を利用して育てられている。」

• 付帯状況を表す現在分詞 using 「利用しながら；利用して」は is grown と同時に進行する状況や手段を表している。

Ex. She entered the classroom laughing very hard. 「彼女はひどく笑いながら教室に入った。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

① 有機農業の人気の高まり

今日の人々は食物の安全について懸念している。

◆ ℓ.1 As a result 「その結果：結果・結論」

有機農業に対する人気上昇している。

② 有機農業の説明

• 殺虫剤や農薬を使わない。

◆ ℓ.5 Instead 「その代わりに：逆接」

• 植物を保護し、成長を助けるのに、自然な方法を使う。

◆ ℓ.6 So 「したがって：結果・結論」

→ 有機農業の生産物は安全だと考えられる。

③ アメリカにおける有機農業の現在

• 有機農業で栽培されるのは全食品の約2%。

• 政府が認めた有機栽培農場経営者は約1万人で、毎年20%程度増加中。

背景知識

● 有機農産物の需要とマーケット開拓

ある調査によれば、有機農産物の小売販売高を高い順に並べると、アメリカ>ドイツ>日本となる。こうした有機農産物への需要は、人々の、健康と環境問題への意識の高まりを背景に、著しく伸びている。このような有機農産物をはじめとする、いわゆるオーガニック食品を好む消費者層は「LOHAS 消費者層」と言われる。LOHAS とは Lifestyles of Health and Sustainability の略で、この名称は本来は環境や健康に対して意識の高い人々から成る社会集団に着目して名づけられたものであった。しかし昨今では、この層にあたる人々を対象としたマーケットを意味するものへとその意味が変化しつつある。実際に、アメリカではこうした LOHAS 層をターゲットとした自然食品を売り物にする「ホールフーズ・マーケット」や「ワイルド・オーツ」といったスーパーが急成長してきている。

【深めたい人に】: エリック・ミルストーン、ティム・ラング著、大賀圭治監訳、中山里美、高田直也訳『食料の世界地図』(丸善、2005年)、小川孔輔、酒井理編『有機農産物の流通とマーケティング』(農山漁村文化協会、2007年)